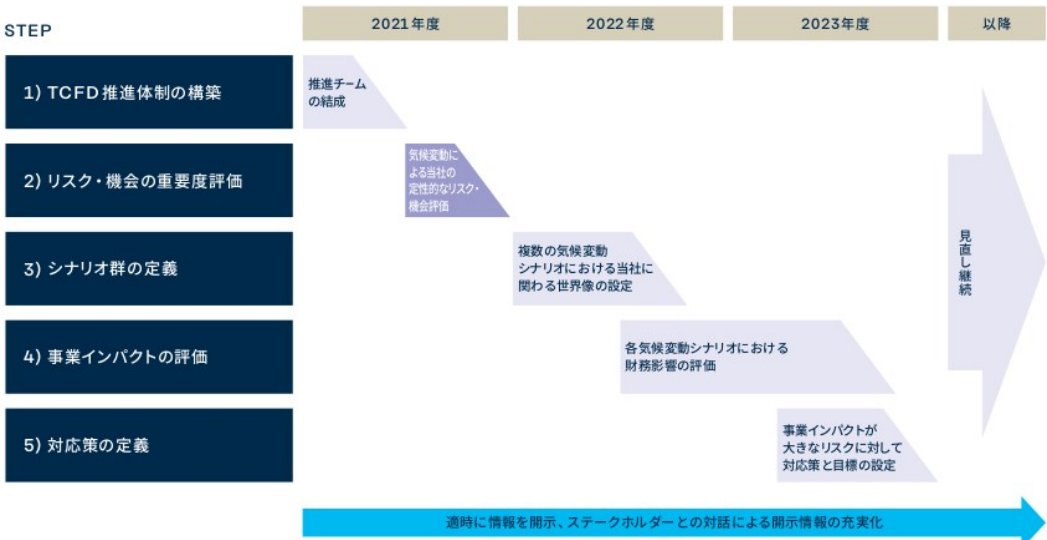


サステナビリティ中期計画 Planet

企業ステートメント	サステナビリティ長期ビジョン	サステナビリティ推進体制
クラレグループ行動規範	サステナビリティ中期計画 3Pモデルと重点施策	サステナビリティ中期計画 Planet
トップステートメント	サステナビリティ中期計画 Product	サステナビリティ中期計画 People
サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope1&2) - 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope3) - 環境負荷低減 / 省エネ・廃棄物・水資源・化学物質 - 気候変動への取り組み(TCFD) - これまでの活動実績	
サステナビリティ長期ビジョン	気候変動への取り組み(TCFD*) クラレグループの気候変動対策への取り組みとして、<u>TCFD提言に基づいた開示</u>に向けて、シナリオ分析を進めています。サステナビリティ委員会の傘下に設置しているTCFD推進プロジェクトチームを中心に各部が連携し、複数の気候シナリオにおける財務影響とレジリエンスを示すため、環境省が発行している「TCFDを活用した経営戦略立案のススメ～気候関連リスク・機会を織り込むシナリオ分析実践ガイド～」を参考に、下図の通り段階的に開示情報を充実していきます。一定の事業範囲について気候変動シナリオに基づくリスクと機会のインパクト評価を実施して開示しています。今後も分析範囲の拡充を進めていきます。 ※金融安定理事会（FSB）により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するために設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」。	
サステナビリティ推進体制		
サステナビリティ中期計画 3Pモデルと重点施策		
サステナビリティ中期計画 Planet		
サステナビリティ中期計画 Product		
サステナビリティ中期計画 People		
クラレグループのマテリアリティ	 図は、2021年度から2023年度までのTCFD推進プロセスを示しています。5つのステップ（1) TCFD推進体制の構築、2) リスク・機会の重要度評価、3) シナリオ群の定義、4) 事業インパクトの評価、5) 対応策の定義）が、2021年度から順に進められていきます。2021年度には推進チームの結成と気候変動による当社の定性的なリスク・機会評価が行われます。2022年度には複数の気候変動シナリオにおける当社に関わる世界像の設定が行われます。2023年度には各気候変動シナリオにおける財務影響の評価が行われます。2024年度以降には事業インパクトが大きなリスクに対して対応策と目標の設定が行われます。最終的に「見直し継続」のサイクルが完了します。また、適時に情報を開示し、ステークホルダーとの対話による開示情報の充実化が図られます。	
Planet		
Product		
People		
ガバナンス		

GRIスタンダード対照表
(内容索引)

クラレレポート（統合報告書）/ サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ

企業情報	製品情報	研究開発	サステナビリティ	投資家情報
会社概要	事業から探す	基本方針	企業ステートメント	経営方針
ごあいさつ	製品名から探す	技術と製品	クラレグループ行動規範	IRニュース
企業ステートメント	キーワードから探す	組織・体制	クラレグループ人権方針	クラレって？
役員	製品のはてな	歴史	トップステートメント	業績・財務情報
組織図		トピックス	サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	IRライブラリー
沿革			クラレグループのマテリアリティ	株式情報
主な受賞歴			Planet	IRカレンダー
主要グループ拠点			Product	よくあるご質問
会社案内動画			People	
テレビ番組動画			ガバナンス	
広告ギャラリー			GRIスタンダード対照表（内容索引）	
			クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト	
			ランドセルは海を越えて	
			イニシアティブ	